

広島大学第 68 回大学祭参加企画 「ビオトープで遊ぼう」～水生生物の観察～ 実施報告

技術センター 塩路 恒生

1. 実施日時:令和元年 11 月 3 日 (日)
9:00~17:00

2. 実施場所:ふれあいビオトープ

3. 主催:技術センター

4. 企画実行委員(12名)

矢吹祐司, 川北龍司, 清水 高, 坂下英樹, 宇都武司, 山口信雄, 松下昌史, 宗岡亜依, 山城英和, 北村亜紀, 松岡大夢, 塩路恒生

5. 実施内容

第 68 回広島大学祭において, 小学生・幼稚園児を対象とした地域社会の親子に自然豊かなキャンパスの情報公開と水生生物・海洋生物とのふれあいの場を提供することを目的に参加した。

<企画事項>

- 1) 虫取り網によるメダカ, 水生生物の捕獲と観察
- 2) メダカ, 花苗のプレゼント
- 3) ビオトープの生き物の展示と観察
- 4) 海の魚による珍魚すくい, 投網・銚突きゲーム
- 5) ザリガニ釣り体験
- 6) お絵かきコーナー, 生き物ポスター展示
- 7) オリジナル缶バッジ, しおりの配布

事前の業務として, 各担当において, 適宜準備を行った。11月1日には実行員にて会場準備を行った。また, 10月27日に有志にて向島臨海実験所で珍魚すくい用の小魚採集を行った。当日は, 受付係, 体験係, 観察係, プレゼント係, ビオトープ系の業務をそれぞれ分担して行い, 各コーナーにて生き物とのふれあい企画を実施した。いきもの会サークルより8名の学生の協力があり, 技術センター職員の指導のもと, 当日の業務を実施しながら, 来場者に対して生き物の解説を行った。

◎ 来場者:92組, 294名(大人167名, 小学生84名, 幼稚園・保育所40名, その他3名)



企画テントのようす



メダカプレゼント・生きもの観察

6. まとめ

午前中は小雨も降る天候の中やや出足が鈍っていたが午後からは例年通りの来場者があった。技術職員や学生スタッフの来場者への対応も適切であった。アンケートからは, 生きものを網で捕まえたこと, 生きもの観察コーナー, 珍魚すくいが楽しかったという意見が多かった。今年は特にザリガニ釣りが盛り上がりを見せていた。新企画として, 生きもの会学生によるポスター展示により自然保護への啓蒙活動を行った。次年度も, 学内における自然活動として, この企画を実施していきたい。